

発達障がい学生への支援の実態と課題 に関する研究のお知らせ

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年7月26日～2024年3月31日

〔研究課題〕

発達障害児とその親への融合的連携支援における看護職のコンピテンシー
— 発達障害学生支援における大学教職員のニーズと課題 —

〔研究目的〕

昨年度、本学板橋キャンパスにて開催致しましたセミナー「発達障害学生への支援の実態と課題」のアンケート内容を整理・吟味し、今後の本学の発達障害学生に対する組織的支援の検討への活用を目的としています。

〔研究意義〕

近年、大学等の高等教育機関へ進学する障害学生の急増に伴い、学生のニーズも多様化し、大学教職員の理解促進、一層の取り組みが必要と言われております。わが国の障害者施策の流れに応じ、多数の学部学科を有する本学においても今後の支援のあり方の検討や教職員の組織的な支援が必要になると考えられます。特に医療系の学部学科が集結する板橋キャンパスでは、演習や実習等での対人関係における学生相談や就職支援に対応する教職員の学生支援の一助になると考えます。

〔対象・研究方法〕

対象はセミナー「発達障害学生への支援の実態と課題」にご参加頂き、2021年9月6日（月）～9月27日（月）にアンケートにご協力頂いた板橋キャンパス教職員の方とします。研究方法は、アンケート内容に基づき、発達障害学生支援における大学教職員のニーズや課題を明らかにし、今後の本学における組織的、および融合的多職種連携支援の在り方を検討します。研究参加は皆様の自由意思に委ねられており、拒否申し立てを行うことも可能です。その場合、研究データ、資料（アンケート回答内容等）、および研究成果をまとめた紙媒体と電子媒体（USB）は全て廃棄します。

〔研究機関名〕

帝京大学医療技術学部看護学科 三木 祐子

〔個人情報の取り扱い〕

本研究におけるデータ・情報は、加工の上、研究に使用します。データ・情報は、研究責任者（情報管理責任者）の研究室で電子媒体に記録・保存し、施錠できる場所にて厳重に管理します。データ・情報を含む電子媒体は、本研究の終了を報告した日から10年を経過した日、又は本研究結果を公表した日から10年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保管致します。

本研究で取り扱うデータ・情報は、本研究目的にのみ使用し、他の研究・研究機関への提供は致しません。

※対象となる方で、ご自身のアンケート記載内容の使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：三木 祐子（みき ゆうこ）（准教授）

住所：〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医療技術学部看護学科
TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 46114〕 E-mail：mikiy@med.teikyo-u.ac.jp